

# 新富町 議会だより

## 9月定例会

- 
- 平成30年度決算
  - 補正予算
  - 一般質問(10人が登壇)
  - 議決結果
  - 特集「ごゆ財団」
  - 町民インタビュー(第一回)

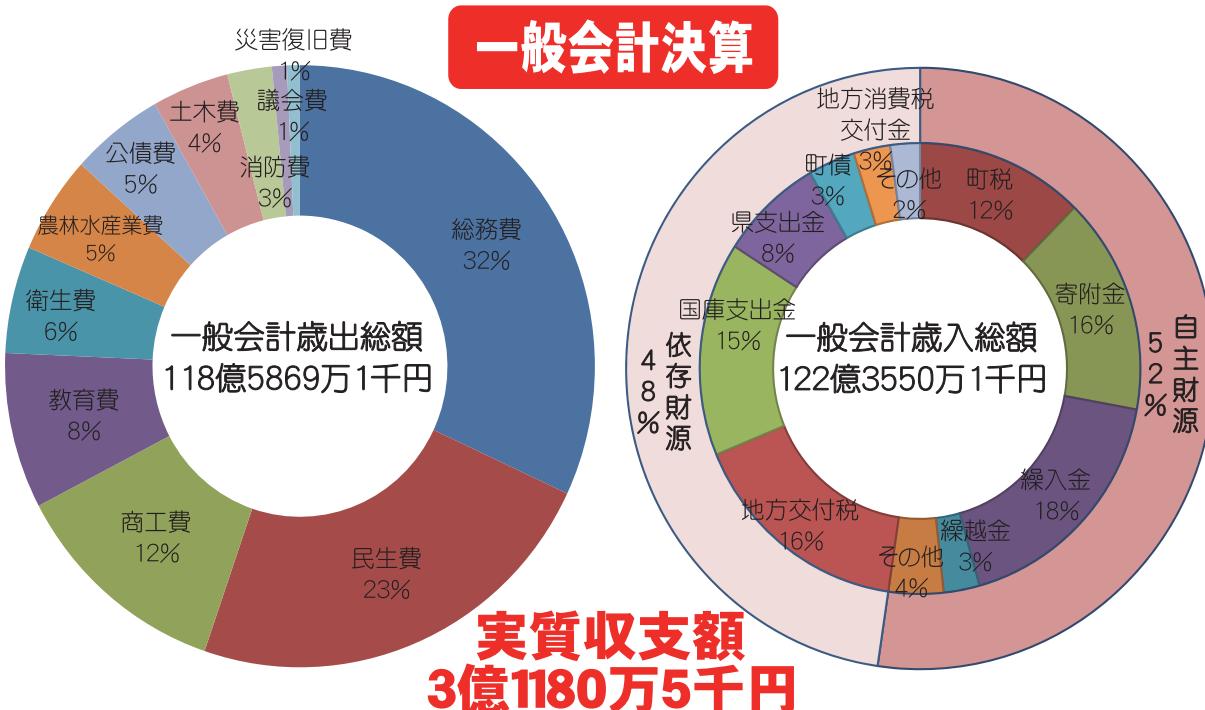


105

2019年9月

# 平成30年度一般会計決算を認定

9月定例会は9月2日から19日までの会期で開かれ、提出された26議案等をいずれも認定、可決しました。一般質問では10人が登壇し活発な論戦を展開しました。また平成30年度における一般会計の決算は、歳入が122億3,550万1千円、歳出が118億5,869万1千円となり、歳入歳出の差し引き額は3億7,681万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源6,500万5千円を差し引き、実質収支額は3億1,180万5千円の黒字決算となり、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。また特別会計なども、それぞれ認定しました。



## 平成30年度特別会計等決算状況(抜粋)

### 国民健康保険特別会計

歳入 23億8882万8千円

歳出 23億4214万1千円

「被保険者負担の軽減」「納税者の公平性」の観点に立つ運営の健全化が課題

### 介護保険特別会計

歳入 15億9513万0千円

歳出 14億3070万2千円

地域包括支援センターにおける総合事業の継続と目標達成が課題

### 水道事業会計

総収益 3億155万8千円

総費用 2億8840万3千円

純利益 1315万5千円

配水管の老朽化に伴う漏水量が増加するなど施設の更新時期が到来し改修費用の確保が課題

### 新富町土地取得特別会計

歳入 5億4222万4千円

歳出 4億6224万0千円

まちづくり事業に関係する用地の先行取得(サッカースタジアム建設用地など)

# 令和元年度一般会計補正予算

## ●新規事業

| 事業名                       | 事業費(円)     | 事業内容   |
|---------------------------|------------|--|
| 庁舎照明設備改修工事                | 4,829,000  | 庁舎新館1階の照明設備をLED照明に改修します  |
| 企業誘致のための用地購入費             | 19,360,000 | 企業誘致のための用地を購入します   |
| 上新田学園前信号機設置に伴う歩行者滞留場所設置工事 | 1,971,000  | 上新田学園前信号機設置のための歩行者横断待ちの滞留場所を設置します                              |
| 水田高度利用産地育成支援事業補助金         | 99,000     | 早期水稻の裏作で秋そばの栽培技術確立実証実験を行うための補助です                               |
| 金丸頭首工水利権更新資料作成業務委託        | 4,664,000  | 一ツ瀬川から取水する農業用水の水利権更新資料作成を委託します                                 |
| 個人番号カード利用環境整備事業           | 1,830,000  | 令和2年度に実施予定のマイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施に向けた自治体ポイントが利用できる店舗等の募集事務委託等 |
| 防火帽購入                     | 256,000    | 消防団員の消火活動中の安全を守るための防火帽を購入します                                   |



上新田学園前信号機設置に  
伴う歩行者滞留場所設置工事

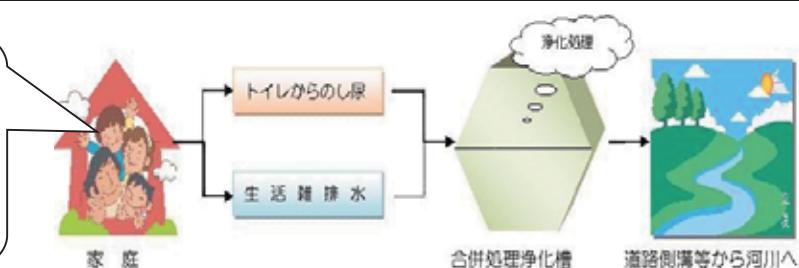
個人番号カード利用  
環境整備事業



## ●継続事業

| 事業名                    | 事業費(円)    | 事業内容  |
|------------------------|-----------|---|
| 公用車購入                  | 6,920,000 | 平成17年度、19年度に購入した公用車2台を更新します                               |
| 浄化槽設置整備事業補助金           | 8,622,000 | 汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽へ転換する際にこれまでの浄化槽設置費用のみから宅内配管まで拡大し補助します    |
| 新富町酪農・肉用牛生産基盤強化促進事業補助金 | 2,000,000 | 繁殖雌牛を110万円以上のセリ価格で導入した場合に、30万円を上限として110万円を超える額の2分の1を補助します |

合併処理浄化槽は自然環境にやさしく、優れた機能を持っている設備といえます。ぜひ、補助金交付制度を活用していただき、合併処理浄化槽の設置をご検討ください。





吉田貴行議員

## なぜ進まない 地上騒音対策

町長  
何らかの動きがあると期待している

問

新田原基地は訓練移転のための施設整備に約88億円を投入。緊急時使用の施設整備に約115億円使う予定だが、地上騒音対策はいくら要望しても、進まない。いつたい、どうなつていのうのか。

答

国に対しても今年度中に何らかの対策がとられるよう強く要望しております、前に進むのではないかと期待しているのです。



問

騒音に関する国の環境基準は、類型区分Ⅰは57Lden、類型区分Ⅱは62Ldenと定められており、速やかに達成するよう求めている。しかし、WHO(世界保健機構)は健康を守るために、45Lden以下にすることを勧告している。騒音問題について、日本は国際的水準から50年以上遅れていると言われている。そこで、騒音と健康被害についての町長の認識についてお伺いします。

答

航空機騒音は町民の大きな負担となつておあり、多くの方が何らかのストレスを感じていると認識しています。

## 防災対策について

①猿ヶ瀬川の浚渫について、県は県単事業として予算をつけたが、土砂捨て場について町への協力を求めていると聞いているがどうなつていてるのか。  
②成法寺地区の太陽光発電の雨水対策・土砂対策はどうなつているか。

答

①ご指摘のとおりです。町としても、早く事業が進むよう、県に協力したい。  
②今まで、設置者や業者を呼んで指導してきました。今後も、適切に指導していきたいと考えています。



問

夜間中学の設置については、二ーズや実態の把握を行い、研究していきたいと考えています。夜間中学の設置については、町長にも、県に要望してほしいと思いますが、どうですか。

答

県に要望していきたいと考えています。

具体的には、不当な差別取り扱いの禁止、障がい者への合理的配慮について行政機関への義務が定められています。本町では「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を定め、取り組みを進めています。

答

障害者差別解消法の内容と本町の取り組みについて、答弁を求めます。

農業用ドローンに対する補助は考えていないか。

県の補助事業を取り入れたいと思います。



阿 萬 誠 郎 議 員

## 医療的ケア児の支援を行います

町長

事例検討を行い  
課題抽出

**問** 医療的ケア児を含む在宅の「重症心身障害児」は増加傾向であるが、家族をサポートする環境は進まず、直面する悩みが大きく4つあります。

- ①相談相手がない
  - ②公的支援制度、施設が少ない
  - ③特に母親が仕事に就けない
  - ④十分な発達、教育環境が与えられない
- このような課題が浮き彫りになっています。
- 近隣市町村と連携したコーディネーター育成の取組みに進展は。

**答** 県内では都城市に1名配置されています。コーディネーターの養成研修は、県の方で本年、年明けに実施予定です。

本町では、協議の場として、新富町障がい者自立支援協議会こども部会で医療的ケア児の検討を予定しており、障がいのある児童とその家族の事例検討を行い課題抽出し、今後の取組みに繋げていきたい。

**問** 町内ICTを活用した「スマートメータ」による検針運用の導入に向けて検討会の設置は。

**答** 今後、東諸県郡、西都児湯郡内の水道事業企業体で組織する県中部地区水道企業協議会において、先ずは検討会を設置し、協議ができると考えます。

**問** 自然漏水は無視できない量となつてあり、今後の対策は。

**答** 老朽管の計画的な更新と漏水調査を職員により隨時行つていきます。



**問** 老人クラブが存続の危機である。町の課題と捉え、現会員の維持、及び組織づくりの啓発、推進が必要では。

**答** 住民主体の活動と歴史があり、社会に貢献され、地域にとって大切な組織と認識。しかし、社会情勢の流れ高齢者の生き方も変化しており、加入者の維持・促進にあたっては、高齢者に魅力のある活動や組織になるよう現状の分析や評価を行うことが先決と考えております。



**問** 政策空き家成法寺住宅の跡地活用について、交流拠点整備に反映するための構想案が必要。地域の声+「地域おこし協力隊」にアドバイザーとして参加する取組みは。

**答** 外からの視点は重要なので、しっかりと検討します。

旧上新田小学校解

教育長

ドや講堂を安全に使用すること  
は可能。また、記念碑等があ  
りますが今後の対応などお伺い  
します。

**答** 工事期間中の使用は基本的に可能と考えます。周辺道路及び侵入通路の安全確保のための看板を設置し、受注業者とも十分協議のうえ安全確保に努めます。また、卒業記念や交通安全の記念碑等の今後の取り扱いにつきましては、現在、学校、P.T.A.と協議しております。今後は教育委員会も対応を検討します。



小山早苗 議題

An aerial photograph of a school campus. In the foreground, there's a green soccer field and some buildings. Behind them is a large, sloping hillside covered in green grass. On the side of the hill, the Japanese characters 'おはがとう' (Ohagatou) are written in white, appearing as if they are growing into the landscape.

**問** 旧上新田小学校跡地の土地活用について今後の具体的な計画があるかお伺いします。

**問** 消防団の夜間訓練で厅舎南側が薄暗く感じたが安全確保はできているかお伺いします。  
**答** 消防団活動に限りず防犯上、災害の際も考慮して総合的に判断していくます。

上新田校区に家を作りたい  
が宅地が無いと聞きます。また、  
各地で大きな災害が起きていま  
す。災害に強い安心安全の拠点  
安心安全の住宅地ができるので  
はないかと考えますが町長の考  
えをお伺いします。

答 上新田の多くは農業振興地  
域となつてゐるため宅地となる  
土地が少なく実際に家が建てら  
れないという相談もあります。

農地に関しての宅地転用は農  
業後継者に対しては認めるよう  
な考え方で議論をしてくださいと  
委員会にお願いをして います。  
今年度はさらに踏み込んで検討  
し、農業振興地の除外規定を町  
として議論をしていこうと考え  
ています。また、県に訴えてい  
くべきだと考えて います。総合  
的に考え新富町全体で勘案して  
いこうと考えて います。



問 全国的に女性団員が活躍されていると聞きます。災害の際の高齢者のサポートや広報活動、女性にしかできない事があると思われますが町長の考えをお伺いします。

答 必要性を言われるようになっています。女性ならではの視点で活動できることからも必要だと認識しています。しっかりと募集をして活躍をして頂きたいと考え、積極的に取り組んでまいりたいと思います。



揖斐 兼久 議員

## 騒音区域見直し白紙撤回後の対応について

町長

防音工事待機世帯の  
解消に全力を尽くす

示後住宅の問題が大切だと認識したところです。

**問** 防衛省から白紙撤回すると  
の説明があつたが、どのような  
措置をすると言つていましたか。

**答** 待機世帯の解消に全力を尽  
くす、再度調査する必要がある  
と認識し、丁寧な説明と十分な  
協議をすると言つていました。

**問** 新しい騒音センター線の協  
議開始について、どのように調  
整するのかお伺いします。

**答** 待機世帯の解消に全力を尽  
くす、再度調査する必要がある  
と認識し、丁寧な説明と十分な  
協議をすると言つていました。



**答** コンター線の協議について  
は未定ですが、住宅防音工事予  
算を継続的に確保するため早期  
に協議をしていきたいと思つて  
います。

**問** 町の防災対策について、防  
災対策の自助、共助を促すため  
に町が行つている対策は何で  
しょうか。

**答** 自助として意識啓発に努め  
るとともに、共助として各地区  
に自主防災組織の結成等の支援  
を実施していきます。

**問** その中で一番大切な事項は  
何ですか。

**答** 自助では限界があるため、  
地域コミュニティ活性化の仕組  
みづくりが重要であると考えま  
す。

**問** 公助として町がとつて  
いる対策は何か。

**答** ソフト面では各種計画の整  
備、防災意識の啓発を行つてい  
ます。ハード面では避難タワー  
をはじめ緊急避難所等の整備や  
備蓄品の整備を実施しています。



**問** 現在、防災対策として遅れ  
ているものは何だと認識してい  
ますか。

**答** 住民の防災意識の啓発が最  
重要課題だと認識しています。

**問** 大規模地震が起きた時の消  
防団の役割についてですが、消  
防団員であつても、自らの命を  
守ることを優先する必要があり、  
団員の安全を考慮した行動基準  
を定めていただきたいと思つて  
いますが、町長の見解をお伺い  
します。

**答** 発災時に消防団員自身の命  
を守る行動が必要であると認識  
しています。団員の行動基準に  
ついては検討していきたいと思  
います。



出口 喜重郎 議員

## スクールバスの運行拡大を 関係者との意見集約のうえ協議・検討していく

教育長

**問** 小学生のスクールバス運行については、現在3km以上上の地区が対象となっております。そのための運行拡大に向けて検討する考えはあります。

**答** スクールバス運行は実施から4ヶ月経過し、順調に運行しております。見直し検討については、通学路の安全点検の実施や学校およびPTA等の関係者の意見集約また財源等も考慮しながら今後協議、検討していくことになると考えています。



**問** 通学路の整備、事故防止について伺います。

**答** 通学路については、幼い命が奪われる悲惨な事故が全国的に多発しており、特に交差点の安全対策の重要性を認識しています。今後も教育委員会、学校、PTAをはじめ役場関係課、鍋土木事務所、高鍋警察署等と連携した危険箇所点検や安全対策を協議し、子どもたちの安全確保に努めていきます。

**問** 農業が衰退しないよう後継者の育成に更に本腰を入れる考え方ありますか。

**答** 後継者として就農する方を対象とした就農支援交付金要綱の見直しを図りながら後継者の確保、育成に努めています。

**問** 農業が衰退しないよう後継者の育成に更に本腰を入れる考え方ありますか。

**答** 就農支援の現状は平成26年度から30年度までに28名の新規就農者と農業後継者が育ち、国の農業次世代人材投資資金または町独自の就農支援交付金を活用して経営を開始しています。

**問** 農業従事者の高齢化や減少に対応するためにも農業経営の大規模化を図るとともに法人化を進める考えはありますか。

**答** 株式会社や農業組合法人など様々な形態がありますので、目的や状況に合わせ関係機関と相談しながら推進してまいります。

